

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課

■ ■

北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする

■ ■ ■ ■ ■ ■

メールマガジン♪

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

研修会やイベントの開催情報

■ ■ ■ ■ ■ ■

全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、

■ ■ ■ ■

定住・起業の支援情報などを発信します。

\*\*\*\*\*

## ■目次

- 【1】西塔さん連載企画！～第9回「飲み会って仕事ですか？」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）
- 【2】協力隊の活動紹介！～ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」で空知の魅力を発信中！
- 【3】広域での連携を目指して、道南の地域おこし協力隊が活動中です！
- 【4】〈事業承継〉移住を検討中の方に向けたオンラインイベント～北海道で始める理想の暮らし。想いをつなぐ事業承継で移住をご検討しませんか？～
- 【5】〈イベント情報〉無料講座「First Step！はじめての創業セミナー」
- 【6】農林水産物・食品の輸出・地域ブランド化に興味のある方必見！！ GFP 海外輸出支援セミナーのアーカイブを公開中！！

\*\*\*\*\*

- 【1】西塔さん連載企画！～第8回「飲み会って仕事ですか？」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）

忘年会の季節ですね。飲み会はお好きですか？

最近、同僚同士で飲まない方や、飲み会の必要性さえ感じない若い方も多いようです。

協力隊からはよく「飲み会って仕事なんですか？強制されている気がするのですが」と相談を受けます。もちろん、強制でも業務でもありません。断ることはできます。

でも、地域に移住し、地域と関わりながら仕事をする上では、親睦会は参加しておいた方が良いでしょう。

なぜならば、地域には“地域の当たり前”があるのです。

例えば、誘ってくださる方々の価値観として

「仕事仲間が親睦を深めるには、飲み会が一番」

「誘ってあげないと失礼になるかもしれない」

「協力隊として頑張っているから労ってあげたい(おごってあげたい)」などがあります。

ときには感謝の気持ちを表す手段として、飲み会へのお誘いがきます。

価値観は人それぞれ。古いも新しいもありません。

協力隊である私たちは「3年間は田舎で暮らしてみる」という決断をしたわけですから、一緒に暮らす仲間たちとして、彼らの価値観を一度は受け入れてみてはどうでしょうか？

忘年会、新年会、歓送迎会など飲み会は多くて3～4回ですから。

もし、どうしても日程が合わなければ

「お誘いありがとうございます！」とにっこり伝えてから、別な日程を提案するなり、ランチに誘うなりしてみましょう。

ちなみに、わたしは体質的にお酒が全く飲めません。3時間の宴会の間、ニコニコしながら酔っ払った先輩たちの話を聞いています。

打ち明け話や裏話が聞けることも多いため、絶好のネタ集めの時間ですね！

<補足；最後に管理職・職員の皆様へ>

最近では一般企業の7割は、部署での飲み会をやめているというデータもあります。お酒を飲めない若者も増えています。しかも、忘年会会費5千円は協力隊の手取りの3~4%を占める負担感だということも知ってください。「若手が忘年会に出席するのは当たり前だ」とは決めつけず、優しく見守ってあげていただければと思います。

移住者を呼び込むのは、双方が歩みよる寛容さがあるまちです。

#### ■西塔大海（さいとうもとみ）

合作株式会社取締役 さとのば大学講師

1984年山形県生まれ。2013年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。

また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージャーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

○さとのば大学 <https://satonova.org/prospective/>

○西塔さん Facebook <https://www.facebook.com/saito.motomi>

### 【2】協力隊の活動紹介！～WEBサイト「そらち・デ・ビュー」で空知の魅力を発信中！

空知総合振興局より空知の魅力を発信するWEBサイト「そらち・デ・ビュー」についての紹介です！

空知管内24市町と空知総合振興局で構成する「北海道空知地域創生協議会」では、空知地域の魅力を発信するウェブサイト「そらち・デ・ビュー」を運営しています。

このウェブサイトのライターとして、2022年10月から、空知管内の各地でまちづくりや地域活性化に向けた取組に携わっている12人の方が新たに加わりました。

ライターの多くは「現役の地域おこし協力隊員」です。

移住者として「地域を外から見る視点」と、日々の暮らしや活動を通じて「地域を中から見る視点」の両方から、空知のディープ！？な魅力を発信しています。

これで空知のファンや応援団がさらに増えること間違いなし！と確信しています。

毎週木曜日に新規掲載する記事のうち1本を担当していますので、ぜひチェックしてみてくださいね。

次回、12月1日(木)は、沼田町のライターさん（地域おこし協力隊員）が担当です。

○「そらち・デ・ビュー」はこちら <http://sorachi-de-view.com/>

### 【3】広域での連携を目指して、道南の地域おこし協力隊が活動中です！

八雲町地域おこし協力隊 藤谷さんの活動紹介です！

八雲町地域おこし協力隊の藤谷です。

私は業務の一環として、主に観光事業をメインに道南広域での連携を推進しております。

今回は10月に道南広域での連携を目的に実施した取り組みを2つ紹介させていただきます。

## ①道南（渡島・檜山振興局内）地域おこし協力隊の研修会を開催！

10月6日（木）に私が運営に携わっている、八雲町の廃校活用施設「ペコレラ学舎」にて、渡島総合振興局が主催の研修会が開催されました。

当日は、9町（知内町・木古内町・鹿部町・森町・八雲町・長万部町・厚沢部町・乙部町・今金町）の地域おこし協力隊22名と行政職員6名、振興局職員6名の計34名に参加していただきました。

ここ数年は新型コロナの影響もあり、交流会はオンラインでの開催でしたが、久しぶりの対面開催となりました。

午前は、参加者の自己紹介、八雲町の隊員による活動内容の紹介、ペコレラ学舎の施設案内を行いました。

午後からは「木工メッセージボード」の作成、ペコレラ学舎の廃材を活用し作成した、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」体験、そして「道南を盛り上げるために協力隊が連携できることを考えよう」をテーマにグループワークを行いました。

中でもグループワークでは、どのグループも面白いアイデアを出されていたので、今後実現に向けて、より一層の連携を進めていければと思っています。

この日に向けて、渡島振興局の担当職員の方と打ち合わせを行いながら、コンテンツの企画や会場準備などをしてきたのですが、当日参加いただいた皆様の沢山の笑顔を見ることができ、運営に携わらせていただけて良かったと感じました。

また、初めてお会いする方もいましたが、様々なコンテンツを通して、自然と会話が弾み、親睦を深めることができたのが、1番大きな成果かと思います。

## ②シエスタハコダテで開催された道南フェスティバルに地域おこし協力隊のブースを出展

10月23日（日）、シエスタハコダテで開催された道南フェスティバルの企画の1つとして、道南各地の協力隊による活動紹介、隊員と一般のお客様との交流会を行うブースを出展しました。

この日は、厚沢部町、今金町、乙部町、木古内町、森町、八雲町の6町から12名の隊員が参加し、各隊員から、その町で協力隊になった理由や町の魅力、活動紹介、卒業後の目標などについてプレゼンをしていただきました。

それぞれの人となりや、今まで知らなかったその町の魅力などを知ることができ、非常に有意義な時間でした。

そして、発表終了後には、協力隊同士だけでなく、発表を聞いていただいた一般のお客様からも質問や、温かい言葉をかけていただいて、この会を企画して良かったと心から思いました。

私自身、SNSでの情報発信などに取り組んでいますが、今回のように直接多くの方に向けて、活動紹介をするという機会はなかなかないので、非常に貴重な機会となりました。

普段はそれぞれのミッションを持って活動している隊員同士が連携することで、色んな相乗効果が生まれると信じ、道南広域を繋げる活動に力を入れていきたいと思っています。

新しい視点を取り入れることで、自分たちだけではなかなか思いつかなかったアイデアが生まれたり、それぞれの得意分野を活かしたコラボレーション企画を実現できる可能性もあると思います。

それが結果的には自分が活動する町の賑わいに繋がり、ひいては道南全体の賑わいにも繋がると思っているので、今後も引き続き、この活動を続けていきます。

既に広域で連携した取り組みをされている地域が多くあるかと思しますので、ぜひ、ご意見やアドバイスなどいただければ幸いです。

またこの場で進捗を共有できればと思っております。  
引き続きよろしく願いいたします。

#### ○問い合わせ先

八雲町地域おこし協力隊 藤谷 周平

TEL : 070-4559-4725

MAIL : [shuhei.fujiya.yakumo@gmail.com](mailto:shuhei.fujiya.yakumo@gmail.com)

#### 【4】〈事業承継〉移住を検討中の方に向けたオンラインイベント～北海道で始める理想の暮らし。想いをつなぐ事業承継で移住をご検討しませんか？～

北海道経済部中小企業課より、「事業承継」に向けたオンラインイベントのご案内です！

いつかは北海道で暮らしてみたい方、移住を検討中の方に向けたオンラインイベントを開催いたします！

近年、移住の新しいキャリアチェンジとして「事業承継」が新たな選択肢になっています。元々ある経営資源を活かした「第二創業」として注目されており、初期投資をおさえて自分のやりたいことに挑戦できるのです。

新しい移住のカタチとして先代が築いてきたバトンを受け取り、北海道で理想の暮らしをスタートしませんか？

イベントでは北海道へ移住し温泉旅館を事業承継された方をお迎えし、移住と事業承継のリアルなご経験談をお伺いします。

さらに、現在後継者を募集されている事業者さんにもご登場いただきます。どんな事業を営まれているのか、また求めている人材像なども具体的にお話しいただきます！

#### <当日の流れ>

- ・移住者経験談トーク
- ・北海道で後継者を募集している事業者のご紹介
- ・北海道の支援施策のご案内

#### <こんな人におすすめ>

- ・北海道へ移住を検討されている方
- ・北海道での暮らしに興味がある方
- ・北海道で起業したい方
- ・自然の中でゆったりとした暮らしに興味がある方
- ・事業承継に興味がある方

#### ○イベント概要

日時 : 令和4年12月11日(日) 14:00~15:30

場所：オンライン開催（Zoom ウェビナー）

参加費：無料

参加方法：<https://relay-hokkaido-1211.peatix.com/>

※チケットお申し込み直後より、注文履歴などから Zoom リンクを確認できます。

主催者：株式会社ライトライト

共催：北海道庁/北海道事業承継・引継ぎ支援センター

○お申し込みはこちら <https://relay-hokkaido-1211.peatix.com/>

○本イベントに関する問い合わせ先

株式会社ライトライト 担当者：齋藤・手嶋

info@light-right.jp

○その他事業承継全般に関するお問い合わせ

北海道経済部地域経済局中小企業課小規模企業係

TEL：011-204-5331

#### 【5】〈イベント情報〉無料講座「First Step! はじめての創業セミナー」

日本政策金融公庫様から「起業・創業」にむけたセミナーのご案内です！

起業を考えているかたが金融機関に初めて相談する様子を寸劇で見せながら、起業に役立つ情報や知っておきたいポイントを解説します。

「起業の相談ってこんな風なんだ」と感じながら、かる〜い気持ちでご観覧ください。

また、起業に関する情報の宝庫！「図書情報館」の活用法もわかりやすくお伝えします。

開催日時：2022年12月15日（木）18：30～20：00

開催方法：ハイブリッド（対面50名＋オンライン）※事前予約制・参加費無料

会場：札幌市民交流プラザ1階 SCARTS コート（札幌市中央区北1条西1丁目）

○詳しくは、下記 URL にてご確認ください。

対面 <https://seminar.sapporosansin.jp/seminar/1730/>

オンライン <https://seminar.sapporosansin.jp/seminar/1731/>

#### 【6】農林水産物・食品の輸出・地域ブランド化に興味のある方必見！！ GFP 海外輸出支援セミナーのアーカイブを公開中！！

農林水産省北海道農政事務所様よりお知らせです！

農林水産省北海道農政事務所から、農林水産物・食品の輸出とその地域ブランド化に役立つ GI 制度(地理的表示保護制度)についてお知らせです！

現在、11月22日（火）に YouTube ライブで開催された【GFP 海外輸出支援セミナー～輸出支援プラットフォームの活動紹介・GI 制度の運用見直し～】のアーカイブをご視聴いただけます。

こちらは、輸出に関わる事業者や地方公共団体を輸出先国・地域から支援する「輸出支援プラットフォーム(略称：PF)の活動紹介」や「GI制度の運用見直しの紹介」を目的としたオンラインセミナーとなっています。

○GFP 海外輸出支援セミナーの視聴はこちら (Youtube)

<https://youtu.be/RvIPKZPV1I4>

※本セミナーに関する講演資料は、YouTube 概要欄等で公開しています。

○GFP って?

→Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project の略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクト

○GI 制度(地理的表示保護制度)って?

→Geographical Indication の略称であり、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因・環境の中で長年育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する製品の名称を、地域の知的財産として保護するもの。

ビジネスにおいては、地域と結びついた製品の品質、製法、評判、ものがたりといった潜在的な魅力や強みを見える化し、国による登録や GI マークと相まって、効果的・効率的なアピール、取引における説明や証明、需要者の信頼の獲得を容易にするツール（北海道では、「夕張メロン」・「十勝川西長いも」・「檜山海参」・「今金だんしゃく」・「網走湖産しじみ貝」・「ところピンクにんにく」の6製品が登録中!!）。

今回の運用見直しのポイントは①登録申請前及び登録後における地域の負担軽減、②プロモーションを強化し、GI の認知・価値を高めていく等。

今後も GI を活用した農林水産物・食品の地域ブランド化を通じて、所得・地域の活力の向上や輸出促進を更に後押しする効果が期待されています。「最近、今金だんしゃくのポテチをコンビニで見かけたことがある!!」という隊員の方もいらっしゃるのではないのでしょうか!?

○地理的表示(GI)保護制度についてもっと詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

農林水産省 地理的表示(GI)保護制度

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi\\_act/](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/)

○農林水産省公式 YouTube チャンネル「BUZZ MAFF」では、GI を面白おかしく紹介中!!

政策をラップで説明することにしました。 GI 保護制度

[https://www.youtube.com/watch?v=N9BZDQ1\\_n\\_E](https://www.youtube.com/watch?v=N9BZDQ1_n_E)

○お問い合わせ先

農林水産省 北海道農政事務所 事業支援課 知的財産グループ

TEL : 011-330-8810

<お願い>

北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。

道内で活動中の皆さんの取組紹介でも構いません。他地域の皆さんの取組が情報共有、また様々な連携に繋がっていくものと考えていますので、メールマガジンの積極的な活用をお願いします。掲載を希望される方は、[sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp) までご連絡ください。

- ◆発行 北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課  
◆住所 〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目  
◆電話 011-204-5791 (直通)  
◆FAX 011-232-1053

- ◆御意見・お問い合わせ (当メールマガジンに関する事)

[sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp)

- ◆登録変更、中止、バックナンバーはこちらから

<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

- ◆北海道地域おこし協力隊ホームページ

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/68404.htm>

- ◆このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。

- ◆このメールマガジンは等幅フォントで見ることをおすすめします。